



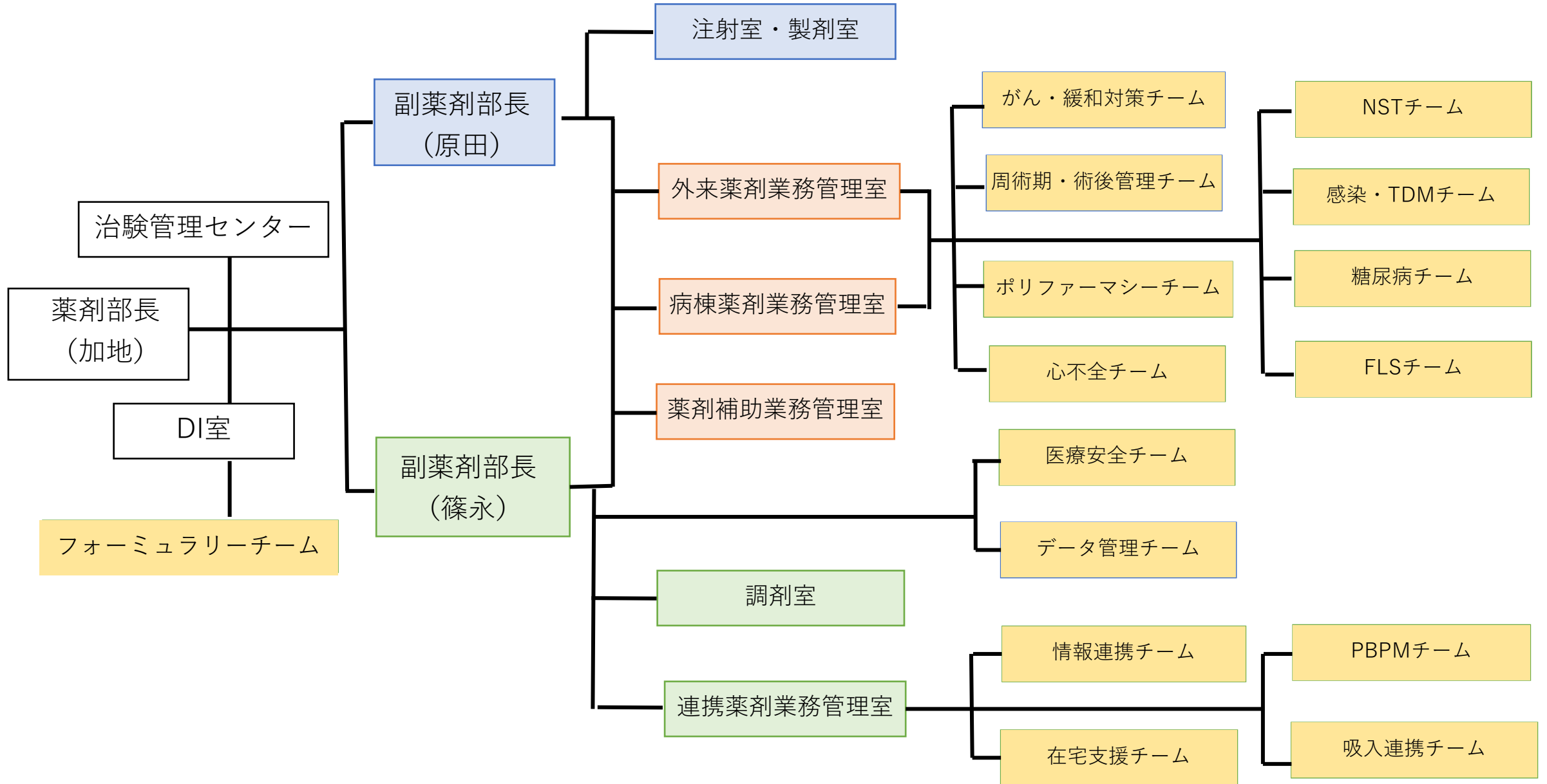
MI TOYO

三豊総合病院薬剤部における卒後教育

三豊総合病院 薬剤部

父母ヶ浜（香川県三豊市仁尾町）

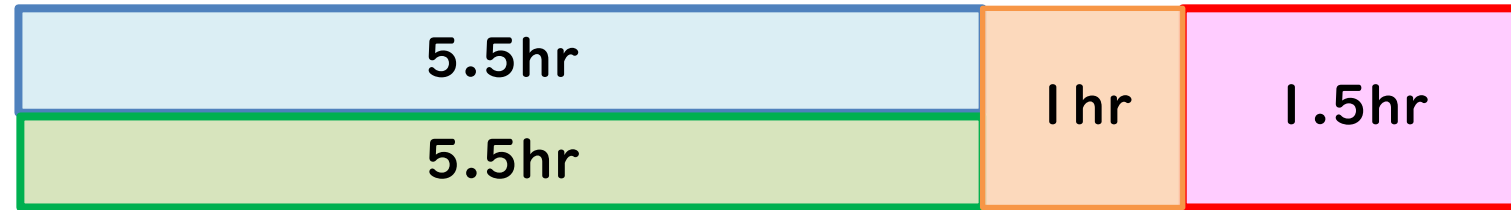
# 三豊総合病院薬剤部 組織図



# 当院における薬剤部業務体制（1日の時間配分）

1病棟につき、主担当及び副担当の2名以上を配置

病棟薬剤師  
(各病棟2人)



病棟薬剤業務



薬剤管理指導業務



セントラル業務



各種チーム等の役割業務

全ての薬剤部員が病棟業務とセントラル業務、各種チーム業務を兼任し、一つのタスクに複数名で対応。



タスクシェアしておくことで休暇取得も容易となり、産休・育休や突然の病欠、退職等にも対応可能。

《がん/感染/栄養領域》

## 薬剤部が受けている施設認定、認定薬剤師など(2025年4月)

日本医療薬学会	がん専門薬剤師 2名
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師 1名
日本緩和医療薬学会	緩和医療専門薬剤師 1名
日本病院薬剤師会	感染制御認定薬剤師 2名
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師 3名
日本静脈経腸栄養学会	栄養サポートチーム専門療法士 4名
《その他》	
日本医療薬学会	指導薬剤師 1名
日本医療薬学会	薬物療法専門薬剤師 1名
日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士 3名
日本老年薬学会	老年薬学認定薬剤師 2名
日本小児臨床薬理学会	小児薬物療法認定薬剤師 1名
日本薬剤師研修センター	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 1名
日本薬剤師研修センター	漢方薬・生薬認定薬剤師 1名
日本禁煙学会	禁煙認定専門指導薬剤師 1名
厚生労働省	日本DMAT隊員 1名
日本在宅薬学会	バイタルサイン講習会インストラクター 1名
日本アンチ・ドーピング機構	公認スポーツファーマシスト 1名
日本薬剤師研修センター	認定実務実習指導薬剤師 4名

日本医療薬学会	薬物療法専門薬剤師研修施設
日本医療薬学会	医療薬学専門薬剤師研修施設
日本医療薬学会	地域薬学ケア専門薬剤師研修施設
日本医療薬学会	がん専門薬剤師研修施設
日本臨床腫瘍薬学会	がん診療病院連携研修病院
緩和医療薬学会	緩和医療専門薬剤師研修施設
緩和医療薬学会	地域緩和ケアネットワーク研修施設
薬学教育協議会	薬学生実務実習受入施設

日病薬病院薬学認定薬剤師 20名  
 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師 2名  
 学校薬剤師 7名

# 当院薬剤部における卒後教育（1年目）2025年

【卒後教育責任者】 薬剤部長  
 調剤室：副薬剤部長  
 注射室・製剤室：副薬剤部長  
 病棟業務：主任薬剤師  
 教育学習：副薬剤部長

【メンター制度】  
 2-3年目の先輩薬剤師が  
 1年間担当



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規採用者研修	(全職員対象で3日間、1泊研修別途あり)											
卒後教育評価体制	自己評価+指導者評価 実務研修に合わせて、2週に1回程度実施（確認テスト、振り返り）						自己評価+指導者評価 遅番、日直、当直、病棟業務に関する理解度、習熟度を随時確認（確認テスト、振り返り）					
実務研修	調剤室業務	注射室製剤室業務	調剤室業務	注射室製剤室業務	調剤室業務	注射室製剤室業務	調剤室業務	注射室製剤室業務	調剤室業務	注射室製剤室業務	調剤室業務	注射室製剤室業務
	遅番業務、日直業務											
	薬剤管理指導業務等の病棟業務（8か月で全ての病棟を経験）											
教育学習	分野別臨床薬剤学習						臨床症例学習					
	DIカンファレンス（最新の知見に関する勉強会、症例検討を含む）に週1回参加											

【実務研修】  
 各業務担当者が  
 分担して担当

【教育学習】  
 DI教育担当者を  
 配置

【実務研修】  
 半年経過した後  
 遅番/日直研修

【実務研修】  
 8病棟+αを  
 8か月かけて研修



# 当院薬剤部における卒後教育（1年目）

## 【実務研修】

1病棟を1か月  
8か月かけて研修

W4病棟	外科
W5病棟	脳外科
W6病棟	循環器
W7病棟	整形外科
W8病棟	消化器内科
S2病棟	泌尿器・皮膚・眼科混合
S3病棟	代謝・腎臓内科
S4病棟	呼吸器



## 【実務研修】

病棟担当者間で調整  
適宜研修を実施

W2病棟＋手術室	ICU/OP
W3病棟	小児科/婦人科
S5病棟	緩和ケア

# 当院薬剤部における卒後教育（2年目）

【卒後教育責任者】 薬剤部長  
 調剤室：副薬剤部長  
 注射室・製剤室：副薬剤部長  
 病棟業務：主任薬剤師  
 教育学習：副薬剤部長

【実務研修】  
 2年目から  
 当直研修

【実務研修】  
 3か月間希望する  
 病棟にて研修



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
卒後教育評価体制	自己評価+指導者評価（セントラル）												各チームの担当者と責任者が随時評価	
実務研修	調剤室 業務	注射室 製剤室 業務	調剤室 業務	注射室 製剤室 業務	調剤室 業務	注射室 製剤室 業務	調剤室 業務	注射室 製剤室 業務	調剤室 業務	注射室 製剤室 業務	調剤室 業務	注射室 製剤室 業務		
	遅番業務、日直業務、当直業務（一定期間対応後は条件に応じて免除可）													
	薬剤管理指導業務等の病棟業務 （8か月で全ての病棟を経験）				薬剤管理指導業務等の病棟業務 （3か月間希望する病棟を経験）				病棟に配属					
チーム医療研修	情報連携/在宅/医療安全/DI ポリファーマシー/老健 （1週間に4時間相当の研修）				がん/緩和 （1週間に4時間相当の研修）				NST （1週間に4時間相当の研修）				感染（ICT/AST） （1週間に4時間相当の研修）	
教育学習	学会発表に向けた学術研修（2-3年目）													
	DIカンファレンス（最新の知見に関する勉強会、症例検討を含む）に週1回参加													

【チーム医療研修】  
 がん/緩和/栄養/感染  
 連携/在宅/医療安全/DI  
 ポリファーマシー/老健  
 （1週間に4時間相当の研修）

【教育学習】  
 2-3年目での学会  
 発表をサポート



# 様々な専門チーム活動（当院HPより）

1. ICT（感染制御チーム）・AST（抗菌薬適正化）



2. NST（栄養サポートチーム）



3. 緩和ケアチーム



6. 肝臓病教室



7. 地域連携チーム



8. ポリファーマシーチーム



6. 医薬品情報（DI；Drug Information）



多職種による**チーム医療**を経験して学ぶ



# (チーム医療研修) 当院薬剤部における卒後教育 (2年目)

セントラル業務や病棟業務  
では**足りない部分**を埋める

専門薬剤師やチームの  
特性を教育でも発揮



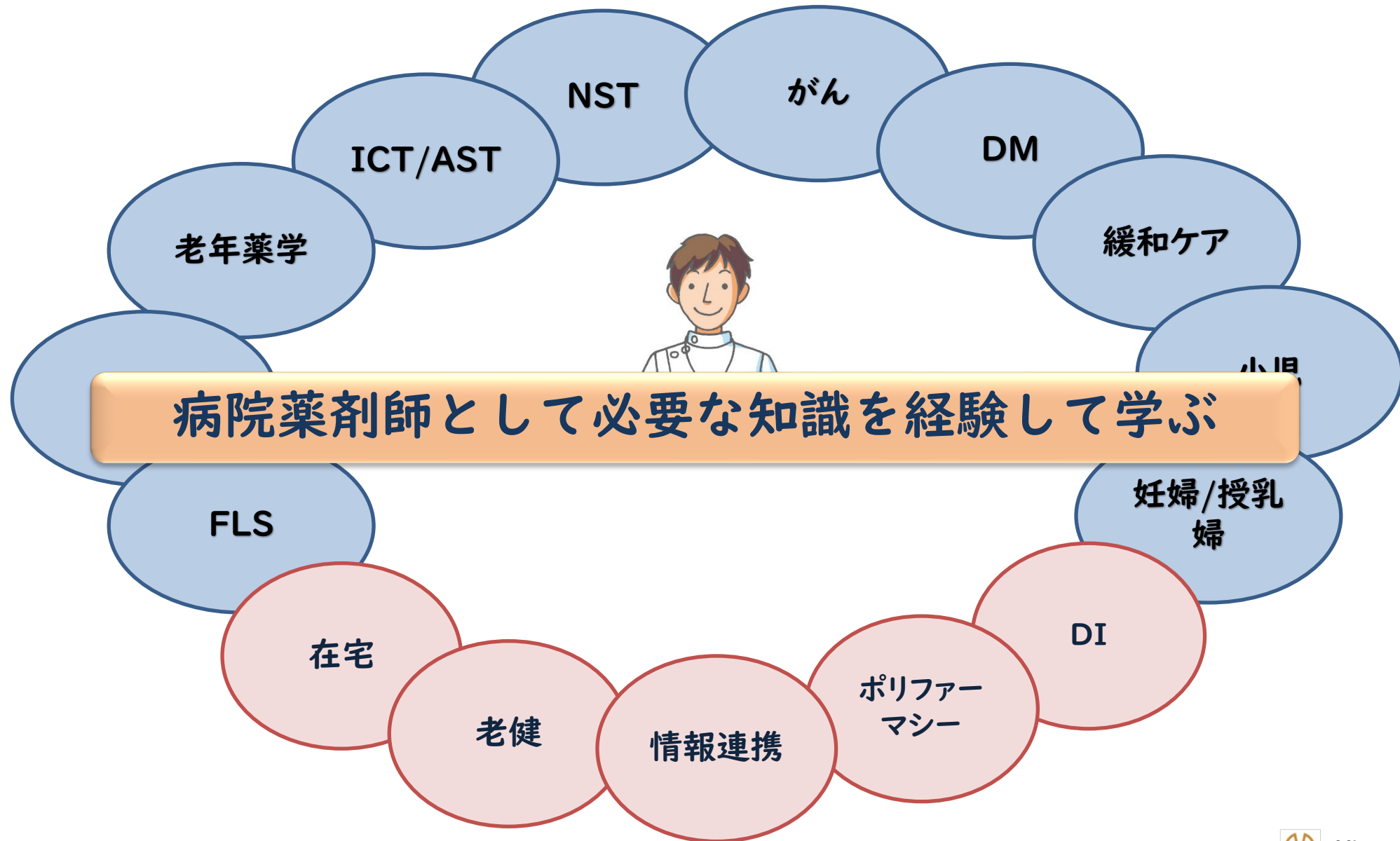
研修項目	対応方法	担当者	期間	時間
がん・緩和	各チーム・担当者が対応	原田・片桐・中西・佐野	3か月	週1で半日
感染 (ICT/AST)	各チーム・担当者が対応	加地・篠永・陶山・石井	3か月	週1で半日
NST	各チーム・担当者が対応	篠永・高原・近藤・中川	3か月 (4×10時間)	週1で半日
老年/ポリファーマシー/老健	各チーム・担当者が対応	篠永・石原・陶山 (ポリファーマシー委員会)	1-2か月	週1で2時間
医療安全 (IA/プレアポイド)	各チーム・担当者が対応	片桐・藤田・香川	1-2か月	週1で2時間
連携 (在宅/情報)	各チーム・担当者が対応	石原・高橋・十川・近藤 (連携薬剤業務管理室)	1-2か月	週1で2時間
DI (フォミュ/採用)	各チーム・担当者が対応	加地・篠永・近藤・頭師・藤田	1-2か月	週1で2時間
DM	S3病棟で	病棟担当者	1ヵ月	毎日4時間
FLS	W7病棟で	病棟担当者	1ヵ月	毎日4時間
小児/妊婦授乳婦	W3病棟で	病棟担当者	1ヵ月	毎日4時間

**【チーム医療研修】**  
がん/緩和/栄養/感染  
連携/在宅/医療安全/DI  
ポリファーマシー/老健  
(1週間に4時間相当の研修)

担当者や研修期間/時間  
を明確に



# 各種専門薬剤師やチームが卒後教育をフォローアップ



# 地域連携に関する卒後研修



在宅薬物療法に課題がある症例への介入



連携部門との協働

多職種連携研修会

入院前連携

訪問薬剤管理指導



情報共有ツール  
(サマリー/返書/TR等)



入院・外来・地域の薬学的連携の質と量をも高める

# 訪問薬剤管理指導の風景



MSV

残薬多数!  
この患者一人で  
約10万円



病院薬剤師が在宅医療へ介入  
↓  
薬局薬剤師をフォローアップ



病院薬剤師(短期)  
&  
薬局薬剤師(長期)  
&  
院内外多職種



# ポリファーマシーに関する卒後研修

入院患者に対し適正なポリファーマシー対策を実施  
多職種チームカンファ（週1）&病棟カンファ（医/薬/看で随時）

ポリファーマシーチームカンファレンス風景

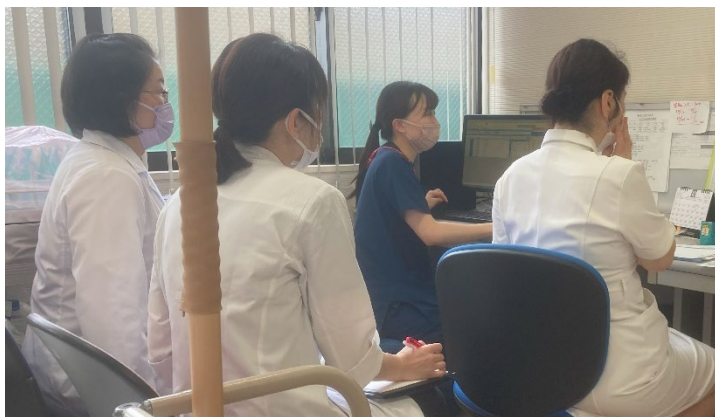
ポリファーマシーチームの薬剤師



# 老健施設における多職種での処方適正化ラウンド研修

老健への薬剤師配置は1人/300名  
⇒当施設では0.25人/日

老健施設でのラウンド風景



紙カルテにて事前情報取得が難しい・・・

**対象** 全入所患者

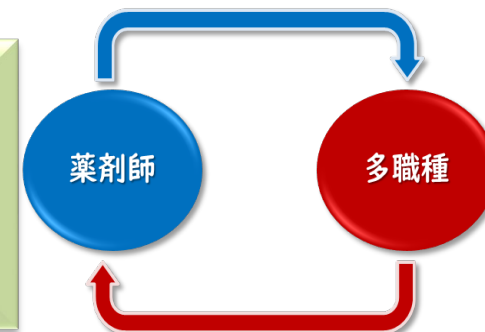
**参加メンバー** 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護士、管理栄養士、セラピスト etc

**スクリーニング** 持参常用内服薬剤数、PIMs、1日薬価

## 多職種情報共有シート

嚥下障害、食欲低下、消化器症状、ふらつき、転倒、傾眠/せん妄、不眠 etc

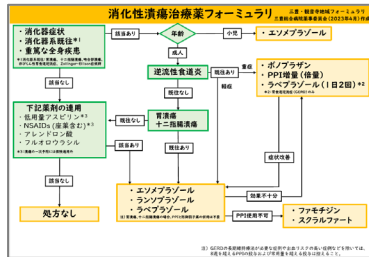
薬剤適正使用に必要な多職種の各種評価を情報共有



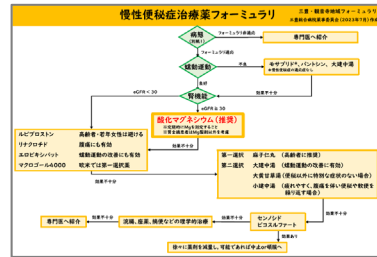
多職種情報共有シート																									
患者ID	患者名																								
相談元																									
<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> 介護士																								
<input type="checkbox"/> リハビリ	<input type="checkbox"/> その他																								
<input type="checkbox"/> 栄養士																									
*薬物の有害事象に係わる可能性のある症状や、薬物の投与または中止により改善する可能性のある症状についてご自由にご記入下さい。 次回定期処方出し時の検討事項とさせていただきます。																									
相談内容	<table border="0"> <tr> <td>①下痢</td> <td>②便秘</td> <td>③食欲不振</td> <td>④胃部不快感</td> </tr> <tr> <td>⑤めまい</td> <td>⑥ふらつき</td> <td>⑦転倒・転落</td> <td>⑧排尿障害</td> </tr> <tr> <td>⑨傾眠</td> <td>⑩不眠</td> <td>⑪せん妄</td> <td>⑫嚥下障害</td> </tr> <tr> <td>⑬かゆみ</td> <td>⑭疼痛</td> <td>⑮低血圧</td> <td>⑯高血圧</td> </tr> <tr> <td>⑰嘔気・嘔吐</td> <td>⑱徐脈</td> <td>⑲頻脈</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑳その他( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①下痢	②便秘	③食欲不振	④胃部不快感	⑤めまい	⑥ふらつき	⑦転倒・転落	⑧排尿障害	⑨傾眠	⑩不眠	⑪せん妄	⑫嚥下障害	⑬かゆみ	⑭疼痛	⑮低血圧	⑯高血圧	⑰嘔気・嘔吐	⑱徐脈	⑲頻脈		⑳その他( )			
①下痢	②便秘	③食欲不振	④胃部不快感																						
⑤めまい	⑥ふらつき	⑦転倒・転落	⑧排尿障害																						
⑨傾眠	⑩不眠	⑪せん妄	⑫嚥下障害																						
⑬かゆみ	⑭疼痛	⑮低血圧	⑯高血圧																						
⑰嘔気・嘔吐	⑱徐脈	⑲頻脈																							
⑳その他( )																									
相談内容 (番号記入)																									
詳細																									
相談内容 (番号記入)																									
詳細																									
相談内容 (番号記入)																									
詳細																									
相談内容 (番号記入)																									
詳細																									

# ～院内フォーミュラリ～DIにおける卒後研修

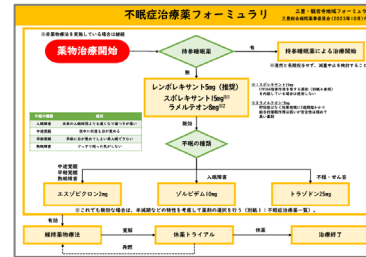
三豊総合病院HPにて公開中



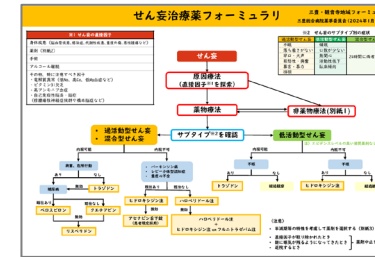
消化性潰瘍治療薬



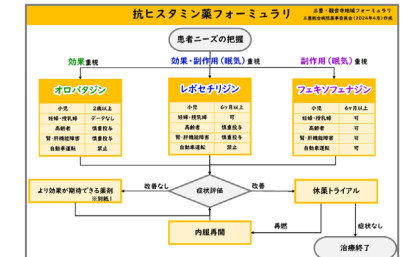
慢性便秘症治療薬



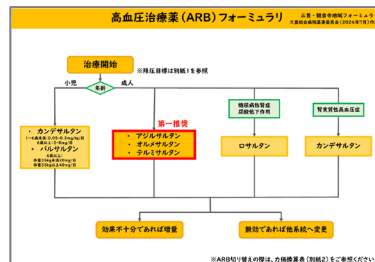
不眠症治療薬



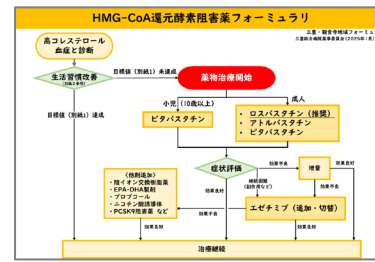
せん妄リスク対策



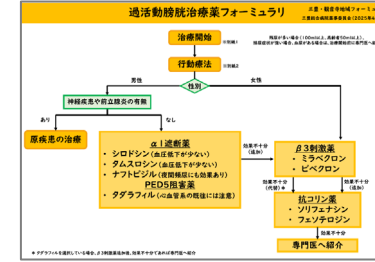
抗ヒスタミン薬



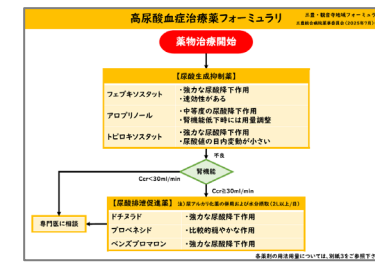
高血圧治療薬 (ARB)



HMG-CoA還元酵素阻害薬



過活動膀胱治療薬



高尿酸血症治療薬

地域医師会 & 薬剤師会が承認 ⇒ 2025年度より地域へ拡大  
DI情報の収集・評価・活用を学ぶ

# 学術支援～当院薬剤部における卒後教育（2年目）

## 令和6年度の学会発表等

第8回 日本老年薬学会学術大会 シンポジウム3
第8回 日本老年薬学会学術大会 シンポジウム5
第8回 日本老年薬学会学術大会 一般演題
第8回 日本老年薬学会学術大会 一般演題
第17回日本緩和医療薬学会年会 一般演題
第7回日本病院薬剤師会Future Pharmacist Forum シンポジウム13
医療薬学フォーラム2024 第32回クリニカルファーマシーシンポジウム 一般演題
第62回香川県国保地域医療学会 一般演題
日本栄養治療学会 第16回中国四国支部学術集会 シンポジウム
日本栄養治療学会 第16回中国四国支部学術集会 一般演題
第62回全国自治体病院学術大会 薬剤分科会2 シンポジウム
第62回全国自治体病院学術大会 一般演題
第34回日本医療薬学会年会 シンポジウム33
第34回日本医療薬学会年会 一般演題
第34回日本医療薬学会年会 一般演題
第34回日本医療薬学会年会 一般演題
第51回日本小児臨床薬理学会学術集会 一般演題
第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 シンポジウム5
第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 一般演題
第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会 一般演題
第19回医療の質・安全学会学術集会 パネルディスカッション25
第40回日本栄養治療学会学術集会 一般演題

- ・アウトプットを通して学ぶ
- ・大学との共同研究/講師派遣

## 令和6年度の論文・著書等

日本病院薬剤師会雑誌 59-10:1169-1170,2023
日本老年薬学会雑誌 vol7 S2: 1-14,2024
日本緩和医療薬学雑誌 17:95-100, 2024
Geriatr Gerontol Int.2024 Dec 4. doi: 10.1111/ggi.15009
外来・薬局感染症学 じほう
多職種の思考でとらえる臨床実践集
月刊薬事7月増刊号 vol.66 No.10 2024 pp.266-270
厚生労働省(令和6年7月22日 医薬安発0722第1号)
日経DI 2024年8月号 pp.028-031
薬局10月号 vol.75 No.12 2024 pp.114-117
Monthly Book Medical Rehabilitation(メディカルリハビリテーション) No.309 2025. 50-57
第7版 衛生薬学 丸善出版 2025 pp.242-252

費用は病院/薬剤部で全て負担

# 学術支援～当院薬剤部における卒後教育（2年目）

2025年第65回香川県国保地域医療学会  
2年目薬剤師が優秀演題発表に選出

薬剤管理サマリーの内容変更が  
保険薬剤師の薬学的介入に及ぼす影響

三豊総合病院 薬剤部

○田岡 優樹、森黒 唯、大嶋 成奈優、石井 照樹、沖廣 絵里子、  
高橋 公子、石原 瑛太郎、篠永 浩、原田 典和、加地 努

- ・ 各種業務の中でアウトカム創出
- ・ 各専門薬剤師やチームがフォローアップ



四国の地域拠点&自治体病院での取り組み



- ① **セントラル&病棟業務**を中心に&丁寧に
- ② **チーム医療**を一通り体験&**学術支援**でアウトプット



幅広い知識と経験を経て、ジェネラリスト&スペシャリストを育成

